

施設長	作成

地域密着型特別養護老人ホームわかば
令和7年度 第5回 運営推進会議

開催日時	令和7年10月22日(水) 午前11時～午前11時30分										
開催場所	特別養護老人ホームわかば 1階 会議・研修室										
サービス区分	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護										
出席者の状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">委員（職種）</td> <td>委員数（9）名／出席（8）名</td> </tr> <tr> <td>(利用者代表)</td> <td>(家族代表)</td> </tr> <tr> <td>-(地域代表)-</td> <td>(市町村職員)</td> </tr> <tr> <td>(第三者委員)</td> <td>(知見を有する者)</td> </tr> <tr> <td>職員（役職）</td> <td>(特養わかばイースト施設長) (特養わかば生活相談員) (特養わかば施設長)</td> </tr> </table>	委員（職種）	委員数（9）名／出席（8）名	(利用者代表)	(家族代表)	-(地域代表)-	(市町村職員)	(第三者委員)	(知見を有する者)	職員（役職）	(特養わかばイースト施設長) (特養わかば生活相談員) (特養わかば施設長)
委員（職種）	委員数（9）名／出席（8）名										
(利用者代表)	(家族代表)										
-(地域代表)-	(市町村職員)										
(第三者委員)	(知見を有する者)										
職員（役職）	(特養わかばイースト施設長) (特養わかば生活相談員) (特養わかば施設長)										
報告事項	<p>出席者紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動状況報告 ● サービスの質の向上にかかる事項 ● その他、意見交換 										

次第

出席者：別添資料（スライド⑯）に構成メンバーを記載。

第5回の開催にあたり、委員の（地域代表）が都合による欠席となる報告が行われた。

• 地域着型特別養護老人ホームわかばの活動状況報告

1. 活動状況報告（スライド③～⑤）

令和7年10月～令和7年11月度期間における稼働件数推移について報告。

• 男女別稼働件数推移

10月度は33日間（96.3%）、11月度は11日間（98.7%）の入退空床の発生により目標に対し稼働件数の減。

• ユニット別稼働件数推移

先述の入退に伴う空床がBユニットとCユニットで発生。

• 要介護度別利用者数推移

10月度は28名の在籍で終了し、11月度は定員29名の在籍。

要介護度3認定者 4名（14%）

要介護度4認定者 17名（59%）

要介護度5認定者 8名（27%）

2. ユニット別平均要介護度、平均年齢（スライド⑥）

施設全体平均要介護度は4.1（女性：4.2 男性：4.0）。

年代構成としては70歳代×1人、80歳代×10人、90歳代×18人。

- ・ サービスの質の向上にかかる事項

3. 人員体制（スライド⑦）

介護職員に占める介護福祉士の割合（15名中11名=73.0%）。

15名のうち、1名は産休取得中。

実務者研修修了者1名、初任者研修受講予定者1名。

4. 事業所の取組み（スライド⑧）

- ・ 嘱託医の往診 2回／月（隔週(第1・3)月曜日）
- ・ 理美容サービス 1回／月（不定期で追加日程を設けている）
- ・ セブンミール 2回／月（第2・第4木曜日）開催
- ・ インフルエンザ予防接種 11/17実施済み
- ・ 身体拘束廃止委員会 1回／月

毎月の月次部門会議において不適切なケアを含む該当事案がないことを確認された報告。また、やむを得ない事情の場合の手順や対応についても確認を実施していることも報告される。

- ・ 見守り支援機器等活用委員会

使用中の機器と連動するチェアセンサーとの併用の仕方について使用状況下での課題について協議された報告が行われた。

5. 職員研修状況（スライド⑨）

年次研修実施報告として配布報告資料の通り。

※なお、研修に参加できない職員は全員レジュメに沿ったレポート提出を義務付ける。

6. 苦情、事故、ヒヤリハットについて（スライド⑩～⑬）

- ・ ヒヤリハット報告

配布資料の通り。通期延べ報告件数としては15件。

- ・ 事故報告

配布資料の通り。通期延べ報告件数としては45件。

- ・ ヒヤリハット分類（通期）

内訳として転落・転倒・誤薬分類が11.1%、次いで異食・誤飲・その他が5.6%。排泄の為リビングの自席よりトイレまでシルバーカーを用いず歩行されているところを発見。チェアセンサーの活用の検討。

- ・ 事故分類（通期）

内訳として外傷50.0%、転落21.7%、転倒15.2%、離苑・誤飲が4.3%。

車いすに乗った状態で、床に落としたものを拾い上げようと姿勢を崩し、転落。生活リズムとして時に夜間帯に起きていることが多く、見守りセンサー等を活用し生活リズムの把握と対応するケアの組み立ての検討。

- ・

● 参加者からの意見・ご提案等について、

(ご家族様代表)

- 特に提案や意見等などなく、施設で食欲も落ちなく過ごしていること自体、安心できる。

(市基幹包括支援センター職員)

- 感染情報として感染性胃腸炎の発症報告があがってきているので、気を付けて頂きたい。

(第三者委員)

- 介護職員への交付金の報道がでている。働く方へのモチベーションにつながればいい。

(相談員)

- 99歳や98歳の方もご利用しており、百寿表彰も続けられるようお手伝いしていたい。

(特養わかばイースト施設長)

- 施設ご利用のお客様10名のコロナワクチンを接種済み。

次回の開催予定月は偶数月の2月度の開催として調整。